

# 施政方針 平成28年度

平成28年第1回熊野町議会定例会において、町長が平成28年度の施政方針を述べました。  
町政運営に対する所信と施策の概要をお知らせします。

(企画財政課)

## 【はじめに】

平成28年度の予算案並びに諸案件のご審議をお願いするに当たり、私の所信及び町政の基本方針を申し述べます。

## 【町を取り巻く諸情勢】

昨年10月に発足した第3次安倍内閣は、「一億総活躍社会」を旗印に掲げ、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる経済保障」の「新3本の矢」を打ち、引き続き「アベノミクス」を推進し、地方創生に取り組み決意を示しました。

現時点では、各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善により、緩やかながら景気回復に向かうことが期待されています。

ン等で、常設展示の説明を英語、日本語の音声で聞くことができる環境を整備し、外国人観光客にもわかりやすく筆文化を伝えるなど、施設の魅力向上に努めます。定住交流の促進では、町のPRビデオを活用し、「筆の都熊野町」の魅力を発信します。また、筆産業振興事業では、紙、墨、硯の産地である鳥取市、鈴鹿市、石巻市と連携し、「文房四宝まつり」の開催地として情報発信の強化を図ります。

## 【重点的な取り組み】

第5次熊野町総合計画・後期基本計画において、新たな視点で盛り込んだ「ブランド戦略」を推進するため、総合計画に定める政策体系ごとに重点配分を行うなど、事業の「選択と集中」を図ります。特に、「暮らしの基盤が整ったまちづくり」、「日常生活を快適に暮らせるまちづくり」、「子どもが健やかにたくましく育つまちづくり」、「安全に安心して暮らせるまちづくり」を重点的に推進します。

## 【各部門の取り組み】

### 総務部門

筆の里工房は、一部老朽化が進んでいるため、施設周辺の外溝防水工事を行います。また、スマートフォン

支援するとともに、昨年度から始めた自主防災組織育成支援助成制度を継続し、自主防災組織の結成に対する支援を行い、災害に強いまちづくりを推進します。

## 民生部門

民生部では、組織・機構の改編を行います。その内容は、幼児期の教育・保育、地域の子育て支援、母子保健を総合的・一体的に推進する「子育て・健康推進課」と、地域包括支援センターを中心に、介護予防と介護サービス等の高齢者福祉施策を一体的に行う、「高齢者支援課」の設置です。

子育て支援策は、「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、妊娠期から出産、保育所や幼稚園、児童虐待の対応など、就学前まで切れ目のない支援を進めます。母子保健では、不妊症の治療費助成や、妊婦健診に町内歯科医院での歯周病検診、2歳のフッ素塗布事業を新たに実施します。保育所サービスは、老朽

化の著しい「保育所ひかり学園」の全面建て替えに伴う整備費の助成を行います。また、町内の幼稚園とも更に連携を深めるとともに、保護者の就労環境に応じた一体的な保育・教育を支援します。放課後児童クラブについては、手狭となった第2児童クラブを小学校の校舎内に移転します。

新制度の移行により、町が設定することになる私立幼稚園の保育料は、保育所と同様に国の基準より低く設定します。また、くまの・みらい交流館の隣接地に大型遊具のある芝生広場を整備し、神田浄水場跡地には、西部ふれあい広場を整備する計画を進めます。

健康づくりの推進では、健康増進計画等を基に、町民自らが食と運動を中心とした健康づくりの取組を支援し、ノルディックウォーキングの普及や西部地区の公園等にウォーキングコースの設定を行います。

住民健診は、乳がん・子宮頸がんの女性が検診を医療機関で個別に検診できる体制の整備を行います。

また、国民健康保険の医療費分析システムを活用した腎症重症化予防教室を始め、各種健康教室、相談事業を充実します。感染症は、正しい知識の普及啓発、接種勧奨を実施し、予防接種の接種率の向上に努めます。

高齢者施策は、要支援1及び2の高齢者に対する介護予防給付の内、ホームヘルプサービスとデイサービスが「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行するため、不安や混乱が生じないよう円滑に移行します。

障害者施策は、重度障害者の社会活動を促進するため実施している福祉タクシー利用助成の助成上限額を増額するなど、障害者の日常生活の支援に努めます。

高齢者及び障害者施策は、地域活動や自主活動グループの支援、社会参加活動の

促進を図り、ボランティアの協力を得ながら地域と一体となり事業を推進します。

環境対策は、公衆衛生生活動を実施する団体や、小型浄化槽の設置に対する補助金の交付を実施し、ごみの資源化及び公共用水域の水質保全を図り、町民の環境意識の高揚に努めます。

## 建設部門

進展する人口減少社会にあつて町の活力を維持するためには、県道の利便性を向上させ近隣市町との道路ネットワークの強化が重要です。これまで様々な機会を捉えて要望活動を行ってきた結果、県道矢野安浦線の「阿戸別れ交差点」及び「海田大橋入口交差点」の

渋滞対策が、現在策定中の「広島県道路整備計画2016」に整備箇所として盛り込まれ、今後は県と連携して対策に取り組めます。砂防事業は、雲母川においては用地買収が、初神地区の治山事業においては工

事が実施予定です。

町道の整備は、「呉出来線」の狭隘部分の用地取得「藪太央線」、「山崎線」は拡幅工事を実施するほか、中溝地区や平谷地区等の局部改良工事を実施します。

道路インフラの老朽化対策は、国の交付金を活用し、橋梁の点検や補修工事等を計画的に実施し、道路の安全・安心の確保に努めます。

林業振興対策は、引き続き、町有地の松枯れ対策等を行います。また、「都市再生整備事業」を活用し、熊野団地内の側溝の整備や子育て世代に憩いの場として東山公園、貴船公園、防主山緑地の整備を行います。

子育て世代の住宅取得に対する「住むならくまの」応援事業は、子育て世代の定住を促進するため助成金を交付し、人口の維持、地域の活性化を図ります。公共下水道事業は、新宮地区の一部、約7.8ヘクタールの整備を予定し、熊野団

地内の老朽管の改築更新工事を計画的に行うため、管路調査を実施します。また、今後予想される下水道施設

の老朽化に伴い、維持管理計画を策定します。上水道事業では、新宮地区及び川角地区における未給水地区の配水管整備を行うほか、熊野団地内の老朽管を計画的に更新します。

また、水道事業を取り巻く現状と課題を総合的に分析、評価し、目指すべき将来像を設定するため、「熊野町水道ビジョン」を策定します。

## 教育部門

熊野東中学校は、普通教室棟の大規模改修工事と武道館屋根の改修工事を実施し、熊野第一小学校は、プール棟の防水工事を実施します。また、熊野第一小学校東校舎及び熊野第三小学校南校舎の大規模改修工事並びに小・中学校の屋外階段修繕の実施設計業務を実施します。学校給食事業では、中学

校にデリバリー方式の給食を導入します。両中学校において給食用リフトの設置

工事を実施し、整備完了を見込む二学期後半には給食を開始する予定です。生涯学習の分野では、生涯学習と多世代交流の推進を図る、「くまの・みらい交流館」が完成します。隣接する芝生広場とともに、子育て世代の憩いの場となるよう、一体的に運営します。

生涯スポーツの分野では、町民グラウンドの雨水排水機能の改善を図るため、改修工事に向けた設計作業を実施します。また、町民グラウンド周辺の老朽化した社会体育施設も随時改修しながら、社会体育の拠点機能を高め、地域住民の生涯スポーツ活動の推進を図ります。

【おわりに】今後、住民の視点に立ち、「第5次熊野町総合計画」及び「総合戦略」に沿ったまちづくりに全力を傾注してまいります。